

・無料食品配布（ポランティア）報告

4日（土）に実施の無料食品配布では52組60数人の方に食品を配布し、12軒の子育て家庭30人の子どもに政府備蓄米を配布することができました。今回も教会員の方から寄付をいただき感謝でした。また、シオン館周辺地域の方々からこれまでに比べて2〜3倍もの寄付をいただきうれしい驚きでした。ご支援お祈りありがとうございます。

【新型コロナウイルス対応】

《礼拝出席は事前申込にご協力を》

出席者の日ごろのご協力を感謝します。今後も事前の申込をお願い致します。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》

※体調がすぐれない、倦怠感があるなどの際は出席を控えてください。

※換気を行っています。コートの着用など防寒には各自でご留意ください。

膝掛けの貸し出しもご利用ください。

・先週の祈禱会は、トルコ・シリア大地震や宣教師など蒲田シオン教会の外のことを覚えて祈りました。出席者13名。次回祈禱会は3月9日の予定です。

いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木には実りがなく、オリーブの木も実がなく、畑は食物を生み出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいない。しかし、私は主において喜び踊り、わが救いの神において楽しもう。私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。

ハバクク書 3章17〜19節

ハバククは南ユダ王国で活動した預言者で、それは国が滅亡へと向かう時代でした。ハバククが活動を開始したのは少しさかのぼってヨシヤ王の時代です。ヨシヤ王は風紀が乱れた国を立て直し、宗教改革を実行しました。主のことばによって人々を導き、国内には主を崇める空気が満ちました。けれども、彼の死後、息子、孫たちの時代には一転して主への背信が極まります。そして、南ユダ王国は滅ぼされて、バビロン捕囚へと続きます。

ハバククは非常につらい時代を過ごしたと言えます。ヨシヤ王の時代には人々が主

のことばに耳を傾け、ハバククも預言者として充実した日々を送ったことでしょう。しかし、その後は人々の心が主から離れていくのを目の当たりにし、預言者でありながらそれを食い止められない自分の不甲斐なさに苦悩したと想像します。

ハバククという名前の意味は定かではありません。一説には「手をこまねく。腕組みをする」の意味と言われます。まさにハバククは国が滅びに向かう中で、手をこまねいてそれを傍観するしかできず苦しみました。1章のハバククの嘆きの背後には彼の葛藤があると察せられます。

そんなハバククに主は語りかけます。「しかし、正しい人はその信仰によって生きる」と（二4）。この箇所「信仰」とは「真実」の意味で、「正しい人とは主の真実によって生きる」と理解できます。

主は、ハバククにユダ王国の滅亡を預言する一方で、彼らがやがて救われることも告げます（三13）。みことばのうち示された主の救いの計画を受け取ったとき、ハバククは信仰に立ちます。衰退する国情を目の当たりにしながらも、冒頭のみことば（三17〜19）の通り希望を告白します。ハバククの次の時代に登場するのはダニエルです。遠く異国に捕らえ移されましたが、信仰は失われることなく彼らに継承されます。ハバククが信頼した主の真実によって、信仰は確かに次の時代に受け継がれたのです。（泰）

2月12日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 美名子姉

招詞 詩篇46篇10節

会衆賛美 聖歌28

会衆賛美 御手の中で

主の祈り

交読 詩篇103篇1～18節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 ハバクク書

2章1～4節

3章17～19節

説教 しかし、正しい人は

その信仰によって生きる

荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌523

頌金 聖歌376

祝禱

報告

後奏 感謝祈禱

【招詞(主の招きのことば)】

詩篇46篇10節

「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」アーメン

【本日の予定】

■礼拝映像ネット配信 9時から

■第1礼拝後、第2礼拝後

会堂清掃

■小学科礼拝 3階 10時半

お話し 穂谷牧師

■ホザナ礼拝 6階 10時半

お話し 林修養生

■バイブルカフェ 12時15分～

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 林修養生

配信

■第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場

受付

【次週礼拝説教】 田中英師

ヨハネの福音書

14章16～19節

21章1～14節

「湖畔での親交」

【トルコ・シリア大地震緊急支援】

6日にトルコ南部で発生した地震は「100年に一度」とも言われる規模でトルコ南部とシリア北部を中心に甚大な被害をもたらしています。

10日時点で死者数は2万人を越え、負傷者数は8万人。倒壊した家や建物も数知れず、多くの人が身を寄せる場所に苦労しているそうです。現地は今も厳冬期で、家を失った被災者には過酷な環境です。

こうした状況の中で、国際協力NGO「ワールド・ビジョン」はいち早く支援活動を行っています。ワールド・ビジョンは以前よりシリア北西部で難民救援活動を展開しており、その拠点を活用して震災支援に取り組んでいます。

『シリアには人口460万人のうち半数以上が国内避難民で410万人が人道支援を必要としているたいへん厳しい状況下にあります。すでにぜい弱な立場にあった子どもたちが、今回の地震によって、さらに過酷な状況に追い込まれています。』(ワールド・ビジョン・ホームページより)

現地スタッフも今回の大地震を経験しています。幸い、スタッフと家族は全員無事でした。しかし、彼らも過酷な環境に身を置いています。

蒲田シオン教会では、トルコ・シリア大地震で被災した方々のために、可能な限りで支援を届けたいと願います。

※支援献金について

蒲田シオンでは、8日に世界宣教献金より50,000円をワールド・ビジョンに送金しました。礼拝堂に支援献金箱を設置しています。志のある方は御献金ください。世界宣教献金も合わせて今後もワールド・ビジョンに送金します。

※祈りの手を挙げましょう。

被災した方々の回復のために。また、家を失った方々が安心して身を寄せるところが確保されるように。
・救援活動を行っている方々の安全が守られるように。
・国や政治的な対立を越えて支援の輪が広がるように。

【イースター特別賛美参加者募集】

まだまだ寒さの中にありますが、教会暦はレント(受難節)、そしてイースターに向かっていきます。今月22日からはイエス様の十字架を記念するレント(受難節)です。そして今年も、4月7日(金)受難日、9日(日)イースターと続きます。

イースター礼拝で行う特別賛美への参加者を募集します。曲は「墓の中に」を予定しています。一緒に主の復活を賛美しませんか？

実施の形態は検討中です。できれば、以前のようにイースター礼拝での賛美を行いたいと考えています(動画撮影の場合は、4月2日に参加者全員での合唱を録画します)。練習は3月に2回を予定しています。詳細は今後お知らせします。

*参加希望者は: